

# 日刊 磐城時報

編輯者 石城郡平町町長 岡田 弘成  
印刷所 石城郡平町町長 岡田 弘成  
發行所 石城郡平町町長 岡田 弘成  
電話 一三三三  
廣告料 一行十文字 一月五拾圓  
印刷費 一行十文字 一月五拾圓  
日刊(日曜、祭日) 休刊

## 町村會議員大會

### 六百余名平町に會合

#### 午後松ヶ岡公園で園遊會

石城郡町村會議員大會は二十一日午前十時から平町第三小學校に開催するが出席者は六百余名で縣官も出席協議會員の演説等があり午後一時から全國町村長福井主事の講演あり午後三時から松ヶ岡公園で園遊會を催はす等である。

## 突然降雹

平町地方に二十日午後一時突然降雹あり花見客が入り込んでる際とて非常な混雑を極めた。

## 放火事件公判

石城郡好間村小谷作大河原矢三郎に於ける放火事件の第一回公判は二十六日平町支那で開廷。

## 平町の國道舗装

### 政府に三十五萬圓要求

#### 村井知事實現に同意す

平町本通り國道舗装計劃は失業千圓の豫算を立て政府に交渉を救済事業としてその實現に對し進めてゐるから遠からず實現さるるものと期待されてゐる。

## 結核豫防デー

### 宣傳計劃

赤土内務部長と共に上京政府の平警署では各種營業團體の後産業道路工事ならしむ可く努力を得て来る二十七日の結核豫防デーがあるが之と同時に本縣と防衛に管内一齊に講演會、映炎縣との境界九面國道の切取畫會などの豫防宣傳普及につき工事も實行する方針で十三萬五圓の一方ピラ・ポスターを貼附

## 神谷農事試驗場の

### 昭和七年度農事講習日割

神谷村農事試驗場分場では今年度に於て左の如く特別農事講習會を開催する。

- ▲四月二日 春蒔蔬菜の栽培法
- ▲四月二日 蔬菜の病害虫防除法(矢ヶ崎技手、伊藤技手)
- ▲五月二十日 田植と本田管理(辻技手)
- ▲六月十八日 果樹栽培と病害虫防除法(伊藤技手)
- ▲七月十八日 秋蒔蔬菜の栽培法、菜種の栽培と其の利用(矢ヶ崎技手、川上技手)
- ▲八月十六日 春作改良及綠肥栽培法(高根技手)
- ▲九月十五日 稲の收穫調整と産米の改良(木橋技手)
- ▲十月十四日 水田裏作蔬菜の栽培法、穀物簡易乾燥法及優良農具の利用法(矢ヶ崎技手、加藤技手)
- ▲十一月十二日 晩秋より早春に於ける病虫の防除法促成栽培に就て(伊藤技手、矢ヶ崎技手)
- ▲十二月十二日 改良堆肥の作り方と其の原理(辻技手)

## 佐藤代議士

### 一黨の觀櫻會

衆議院議員佐藤太郎後援會では小名濱水産試驗場の海上漁業指三公園で觀櫻會を催すが會費は二十四日午後一時から松ヶ岡第導船第二世磐城丸建造は既報の如く工費六萬七千圓で浦賀ドックが引受け建造を急いで居り來る六月までには建造を了する豫定で七月十日を以て進水式を行ひ直に浦賀ドックから本縣に引渡される事になった、同船が本縣沖を廻航し任務につくのは進水式終了後間もない今夏の海水浴時期頃となる筈で新船で浦賀を施した勇姿は各演並に海水浴客を喜ばす事であらう、尙新磐城丸には工費金五千五百圓を以て最新式無線電話装置を施す事になりこれが補助交付方をこの程農林省に提出したが約三割の補助が交付される筈である。

## 菅の澤の

### 紀念碑除幕

平町菅の澤道路開鑿紀念碑の除幕式は二十日午前十時から關係者數十名參列の上舉行、終つて松ヶ岡公園で祝宴を張つた。

## 磐城丸建造成り

### 七月に進水式舉行

#### 最新式無線電話の裝置

衆議院議員佐藤太郎後援會では小名濱水産試驗場の海上漁業指三公園で觀櫻會を催すが會費は二十四日午後一時から松ヶ岡第導船第二世磐城丸建造は既報の如く工費六萬七千圓で浦賀ドックが引受け建造を急いで居り來る六月までには建造を了する豫定で七月十日を以て進水式を行ひ直に浦賀ドックから本縣に引渡される事になった、同船が本縣沖を廻航し任務につくのは進水式終了後間もない今夏の海水浴時期頃となる筈で新船で浦賀を施した勇姿は各演並に海水浴客を喜ばす事であらう、尙新磐城丸には工費金五千五百圓を以て最新式無線電話装置を施す事になりこれが補助交付方をこの程農林省に提出したが約三割の補助が交付される筈である。

## 貯金通帳遺失

石城郡飯野村谷川瀬遠藤市太郎は十八日午後三時頃平町産業博覽會第一會場内で平局預入れ千五百圓記入の通帳外重要書類を入れた風呂敷包を遺失青くなつて平署に駆け込んだが間もなく平町町生花齋藤誠治が拾得届出した。

## 會合その他

平町村木町バプテスト教會は二十一日、二日同中央教會中島牧師を招き特別講演會を催す。

## 縣稅脫稅者

縣の平町村における縣稅の滞納が多額に上り毎納期に際しこれが整理に腐心してゐることは既報の如くであるが最近殊に甚だしく對策協議中である一面において又郡役所廢止後縣稅檢査員の減員と地理的關係から完全に檢査の決行が出来得ざる立場にあり

## 鹿島村の學校騒動

### 遂に同盟休校決行

#### 縣當局で對策協議

石城郡鹿島村矢田分教場に通學して居た兒童八十名のうち約三十名の父兄は去る四月一日の新學期以來分教場は通學に不便だから兒童を本校に通學せしめることに決めたので問題となし、至つたので村並に縣當局は大目下のところ縣稅の脱稅者が多く歳入減の折柄これが影響は甚大であるので當局ではさしづけ滞納の整理をなすと同時にこれ等脱稅者に向つては細密なる檢發を斷行する意向である。

## 大金を持つ

### 不審の男

千葉縣生れ當時石城郡内郷村宇平太郎越炭礦長屋居住五十嵐さよ方同居人田中與造(四六)は十八日平署に舉動不審として檢査され取調の結果

## 爆藥隱匿

石城郡内郷村白水元朝鮮炭礦地内山神社の大鼓の中にダイナマイト八個雷管七十二本を何者が隠匿しておいたのを十七日午前十時頃警察準備に行つた小野田炭礦坑夫が発見驚いて平署へ届出た、同署では時節柄重大視し直に搜索網を張り犯人嚴探中であるが同署が常磐各炭礦の山神社前に檢査を行つたのでひそかに所持してゐた者がその始末に困り前記の場所に隠匿したものと推してある種の計劃的行動ではないかと睨んでゐる。

最近千葉縣下で現金六百圓を拾得これを着服して前記五十嵐方に潜伏し平町三丁目大谷時計店から現金六十圓で金指輪二個を買つた外百圓圓を消費現金は五十嵐方の押入れに隠し置いた旨自白した。平署から猪狩刑事が急行五十嵐方の押入れを搜索して百圓札三枚の外十圓、五圓、一圓紙幣五十錢銀貨取ませ四百二十圓を發見し直ちに引あげて來たが果しり村當局並に縣學務部では今更

坊やのおち



ドライは…(粉ミルク)

吾が育児界に誇り得る唯一の國産粉未牛乳で如何に眞夏と雖、長期の保存に堪へお湯さへ加へれば純良、濃厚な色、味香共に勝れし母乳と同じ榮養價の新鮮牛乳を得られます。

半ポンド・九〇  
一ポンド一・七〇  
三ポンド五・〇〇

四季を通じて完全母乳代用品

森 永  
ドライミルク

地方代理店 關内藥局  
電話四〇番

平町田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠清  
新潟醫學士 赤羽 菊雄  
藥劑士 佐竹 菊雄  
內科 小兒科 外科 花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

外科 花柳病科 專門

平町六丁目橋際

木村外科醫院

電話三〇九番

**胃腸** 內科 專門  
十二指 虫腸病 胃性腸病  
松村 胃腸科 醫院  
平町南町(電話一七〇)

**痔瘻** 皮膚病 專門  
松村 痔瘻科 醫院  
平町南町(電話一七〇)

鼻の藥 チクノール

平五 山野邊藥局

迅速と廉價  
印刷物は加納活版所

公債 高價買入

勸業債券

電話賣買

御一報次第店員參上可仕候

平町五丁目二二二

佐々木株式店

電話二五三番

專門 內科一般

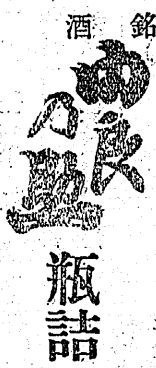
〔內科ハ何デモ診療致マス  
呼吸器病バカリデハアリマセン〕

平町南町六五改(電話一八二番)

川井内行診療所

醫學士 川井 重子  
女醫 川井 安子

御花見には……



(蓋をおつけ致します)

平町田町

永山酒店

電話二〇七番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

魚清食堂部

改築御披露

階上新築食堂は皆々様を御待ちしてゐます。何卒御立寄下さい

例年の通り

御花見の折詰部  
魚折詰部……二十錢より  
壽司折詰部……二十錢より  
本年の折箱は特に最新式の文化折箱を使用致します  
▽多数は特に御相談に應じます  
平町字一丁目

せ印 魚清食堂 折詰部

電話六三三番

出前持二名至急入用

賣店開設

松ヶ岡公園とさわ前に  
花見賣店を開設致しました。

折詰仕出し

松ヶ岡公園  
とさわ前

藤市賣店

電話三〇五番